

平成 30 年度第 3 四半期景況調査報告書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 30 年 10 月～平成 30 年 12 月期の景況調査を実施いたしました。ご協力していただいた会員様へ厚くお礼申し上げます。以下に調査の方法と結果を掲載いたします。

調査時期	平成 30 年 10 月～平成 30 年 12 月
調査企業	製造業 19 件 建設業 18 件 小売業 15 件 サービス業 27 件 宿泊業 9 件
調査方法	調査票への選択記入
作成日	平成 31 年 1 月
分析手法	今期の経営環境（売上、仕入、利益等）については同年四半期前期と前年同四半期を 100%として、今期の景況を「1:増加」「2:不変」「3 減少」で回答を得ている。景気の拡大を示す経済指標であるディフュージョン・インデックス（DI）は、1 を選んだ企業の構成比（%）から 3 を選んだ企業の構成比（%）を引いて算出している。DI がプラスのときは景気拡大期（好景気）、マイナスのときは景気減速期（不景気）と判断する。また雇入れの予定、設備導入の予定、経営課題についても質問し、それらを単純集計してより多面的に景況を判断する。

<製造業>サンプル回答数：19件

継続して販売単価、販売数量の向上に努めている。設備の導入が進んでいない。

図1-1 前期比のDI

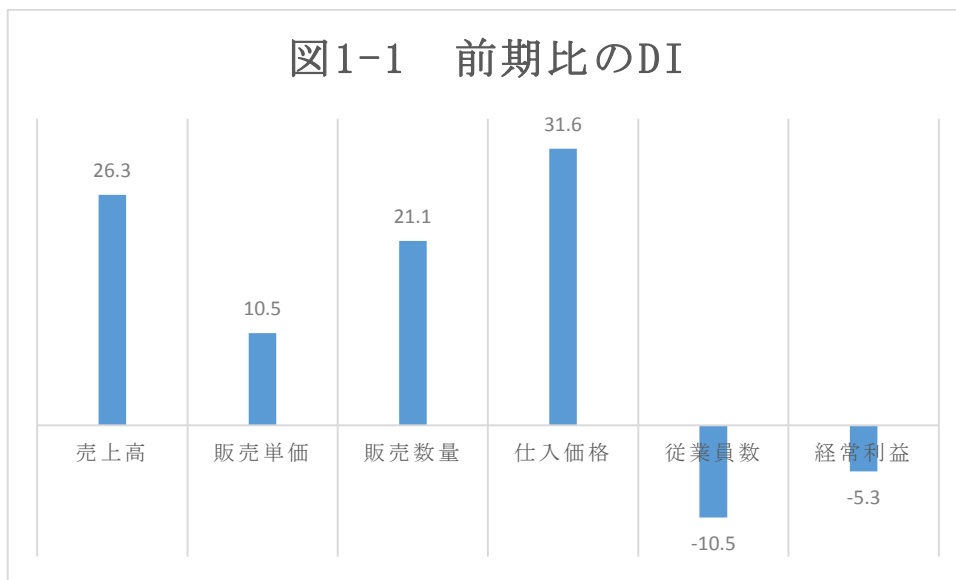


図1-2 前年同期比のDI

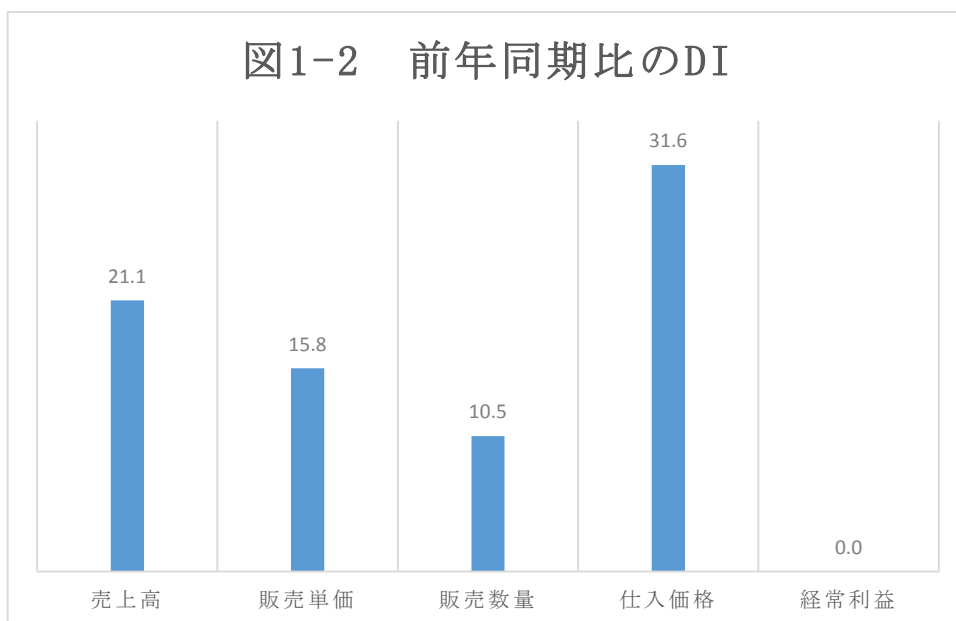


図1-3 雇入れと設備導入予定

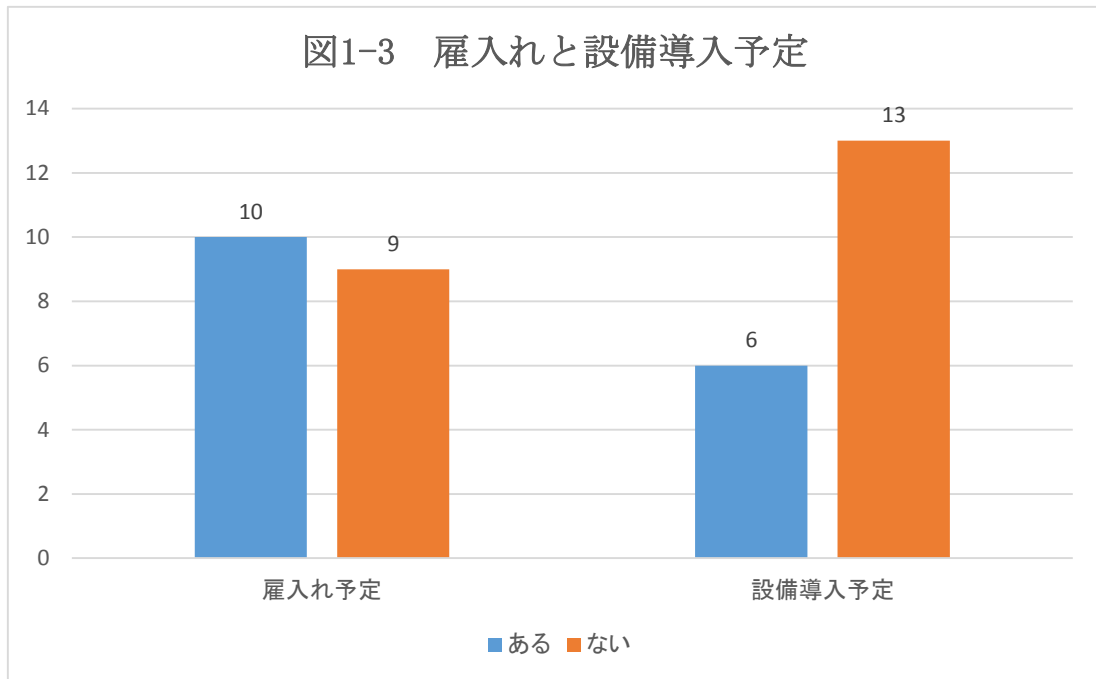
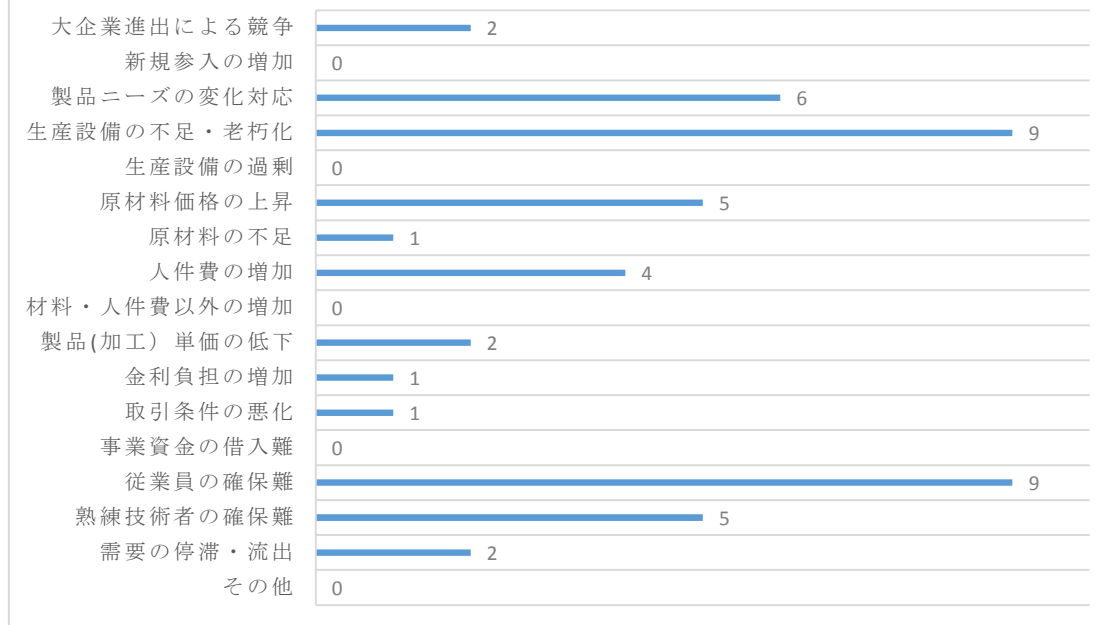


図1-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<建設業>サンプル回答数：18件

継続して販売単価が増加している。従業員確保は依然として厳しい。

図2-1 前期比のDI

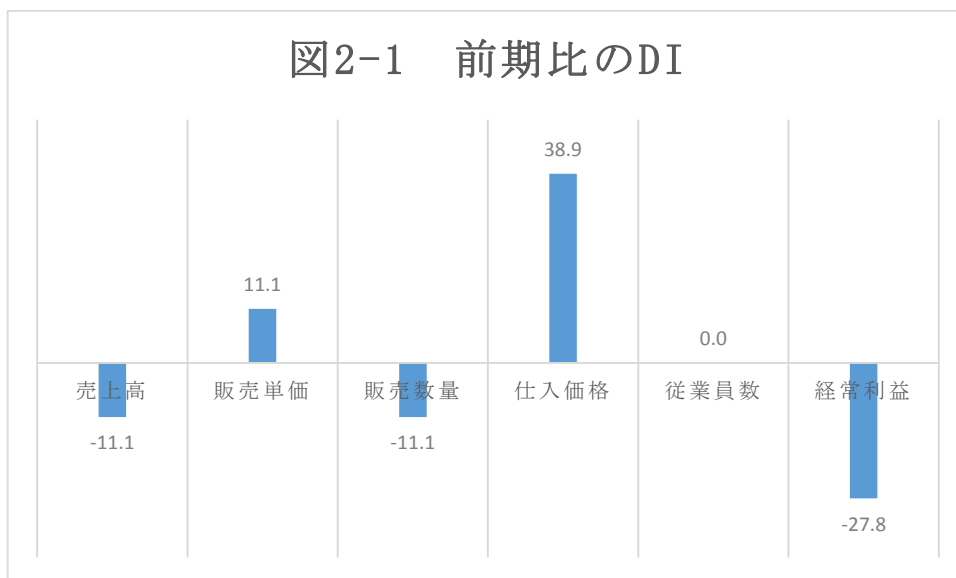


図2-2 前年同期比のDI

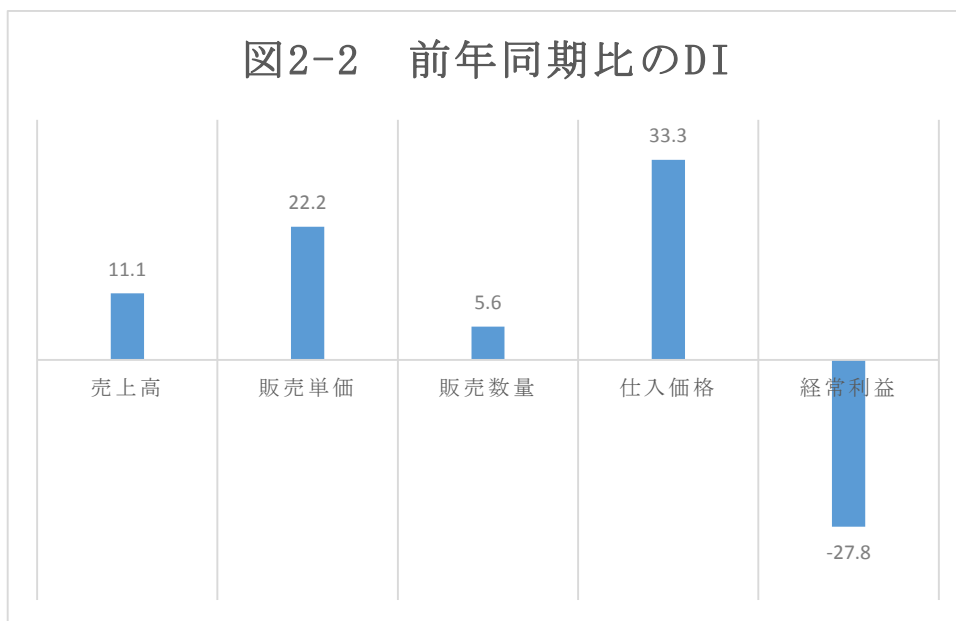


図2-3 雇入れと設備導入予定

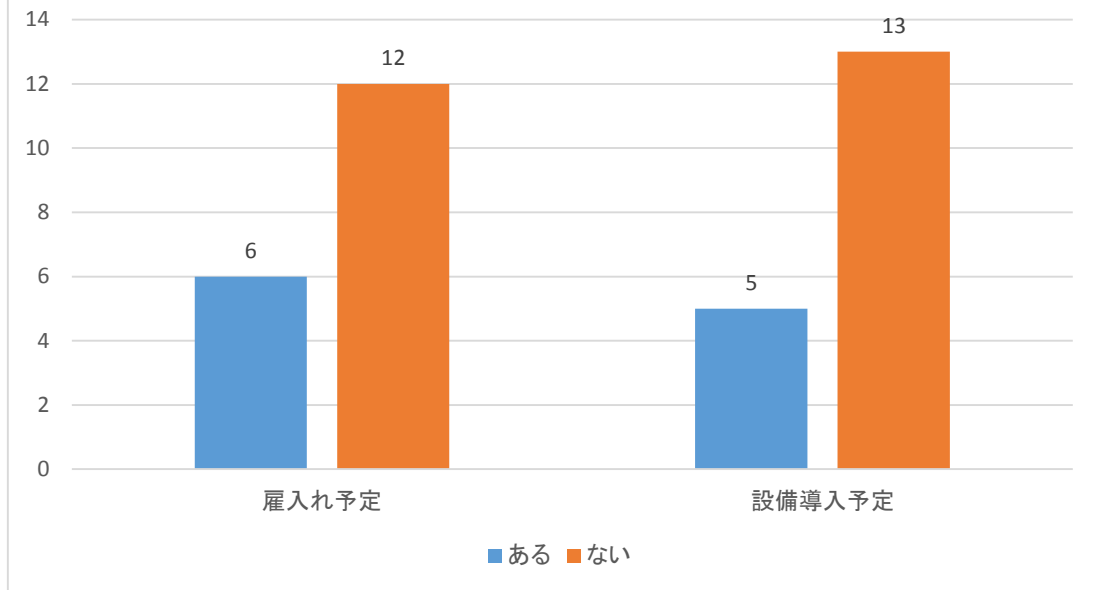
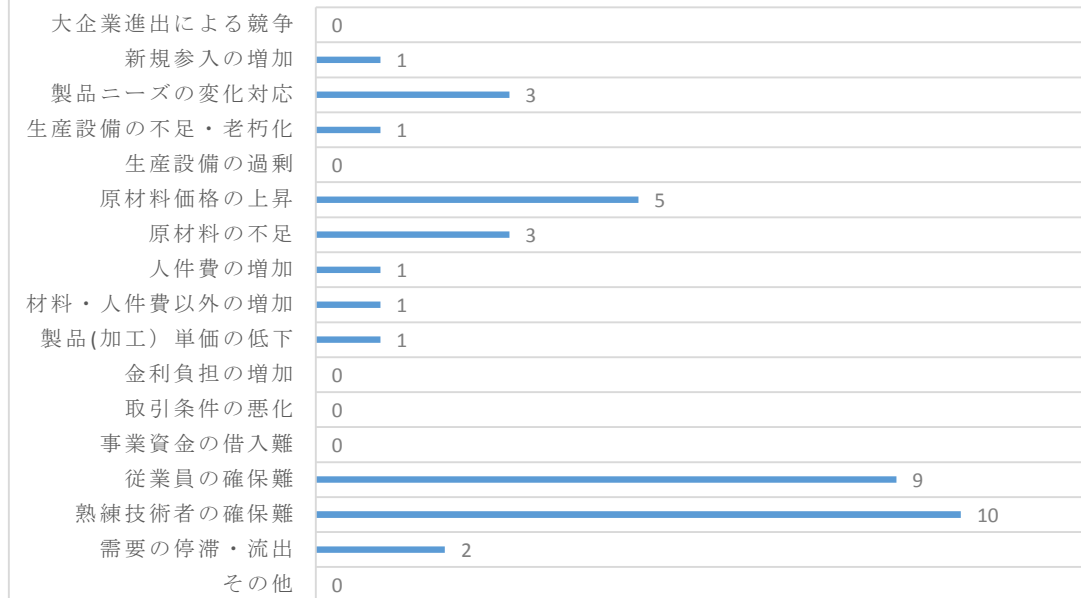


図2-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<小売業>サンプル回答数：15件

需要の停滞により販売数量が減少傾向にある中、販売促進の工夫で増加させた事業所あり。

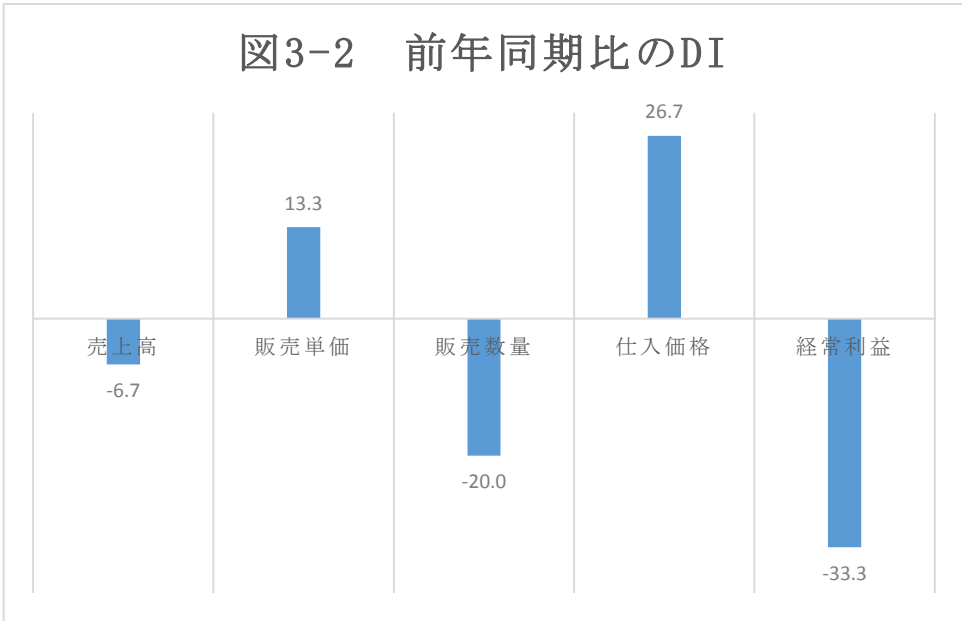
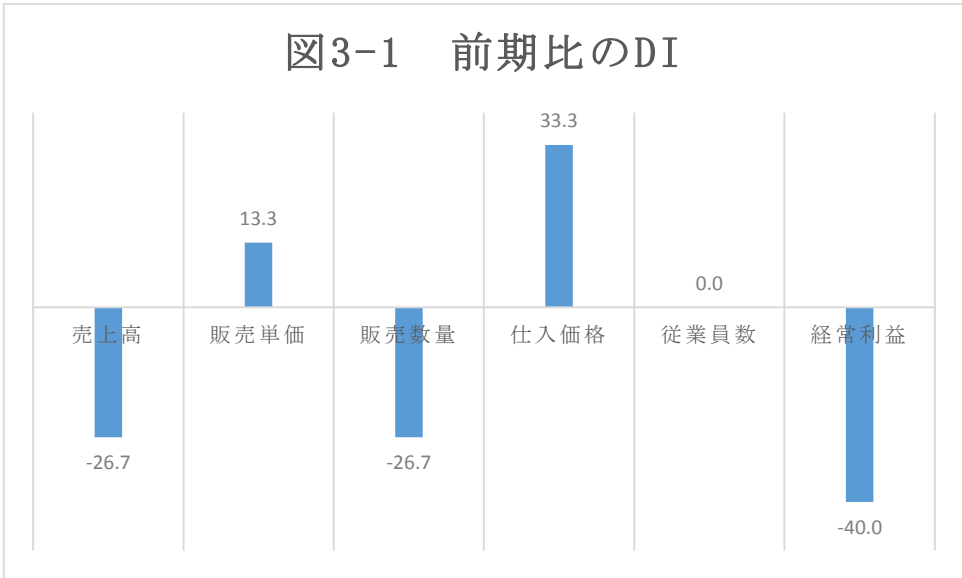


図3-3 雇入れと設備導入予定

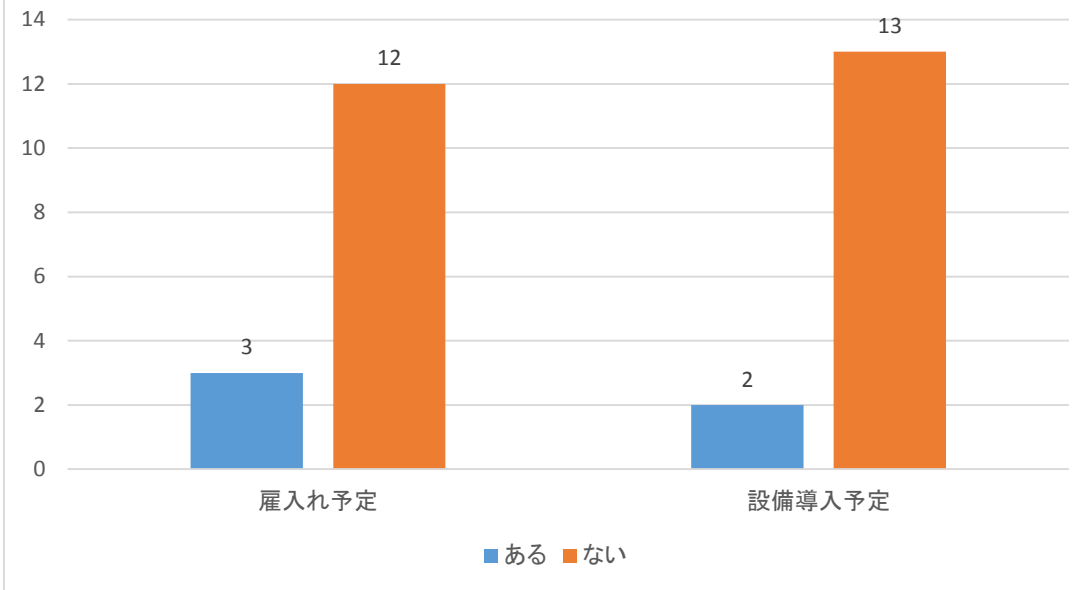
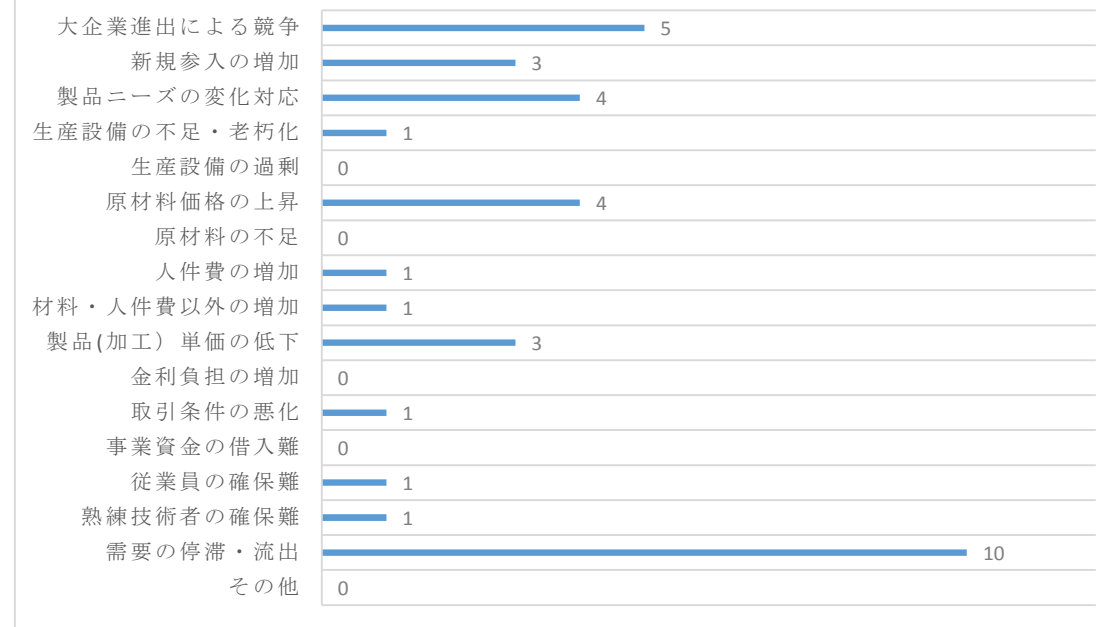


図3-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<サービス業>サンプル回答数：27件

今期は多くの事業所で収益が伸び悩み。販売促進や人材育成に注力した一部の先は収益増加。

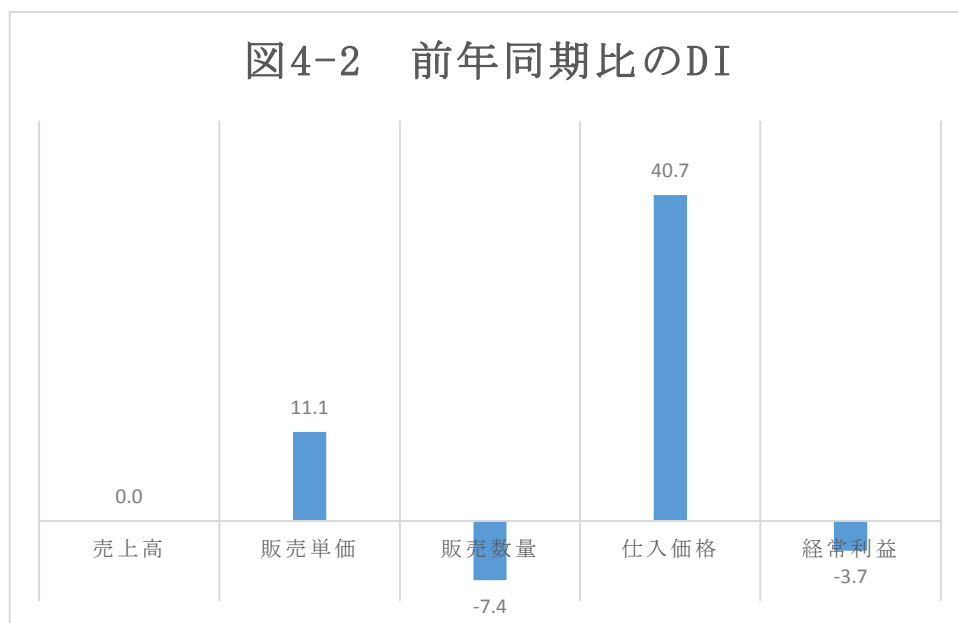
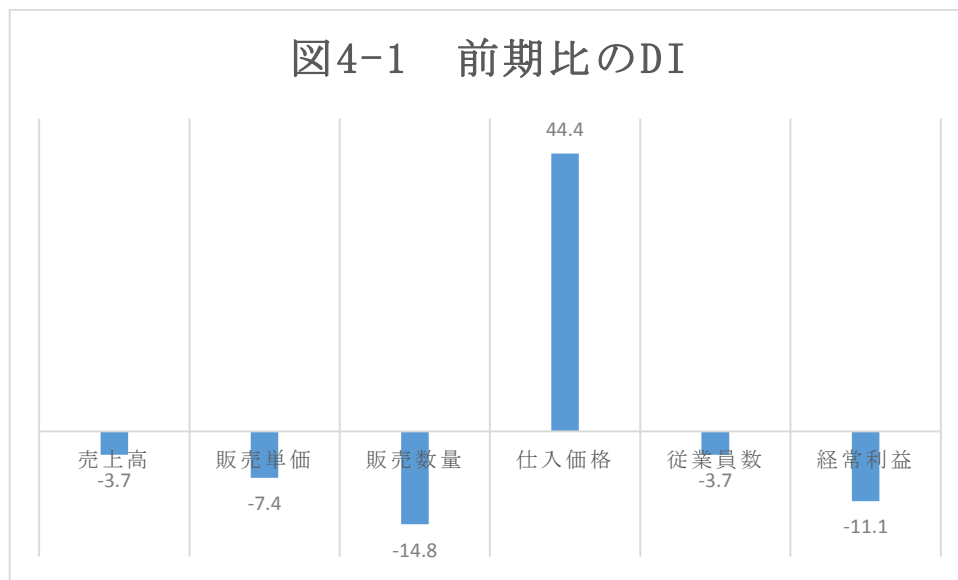


図4-3 雇入れと設備導入予定

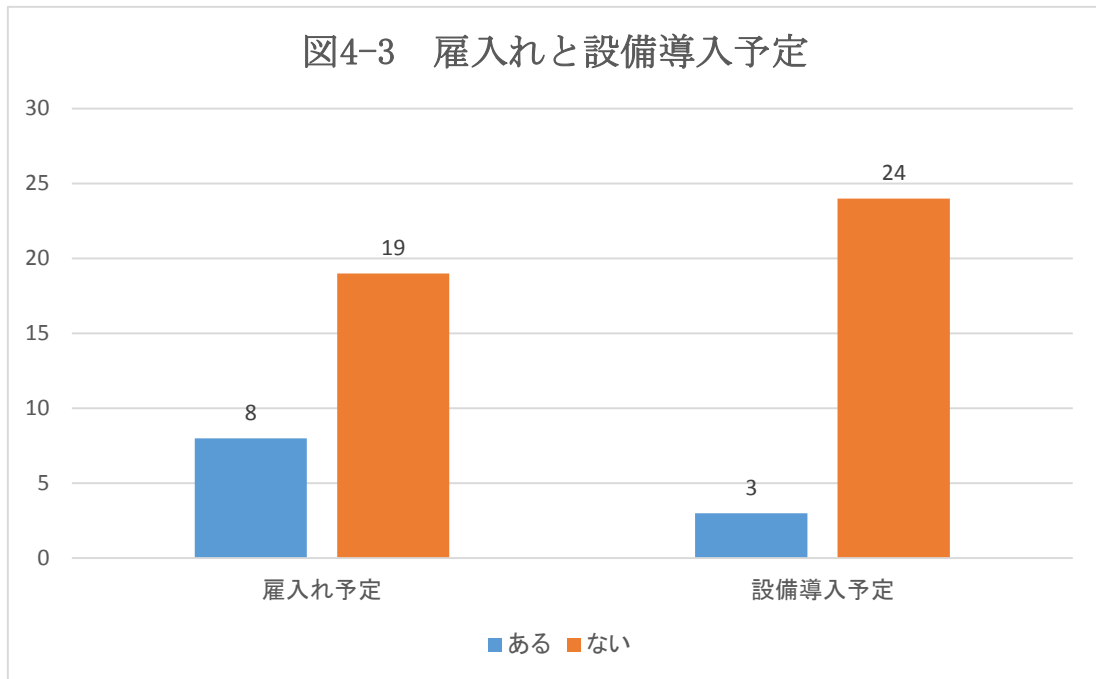
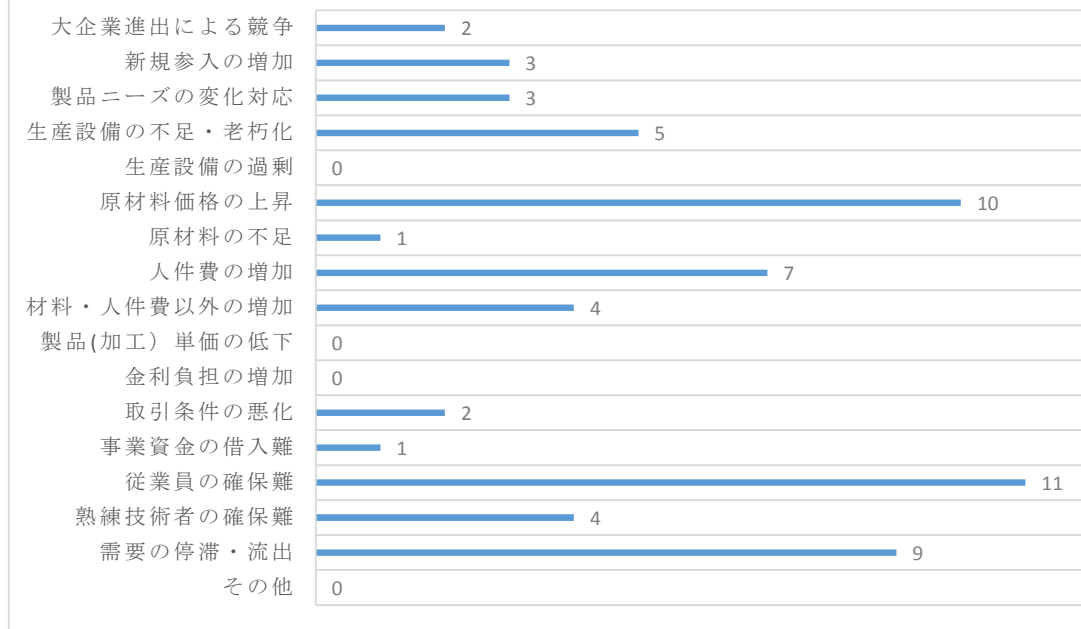


図4-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<宿泊業>サンプル回答数：9件

閑散期の閑散度合いが増している懸念あり。

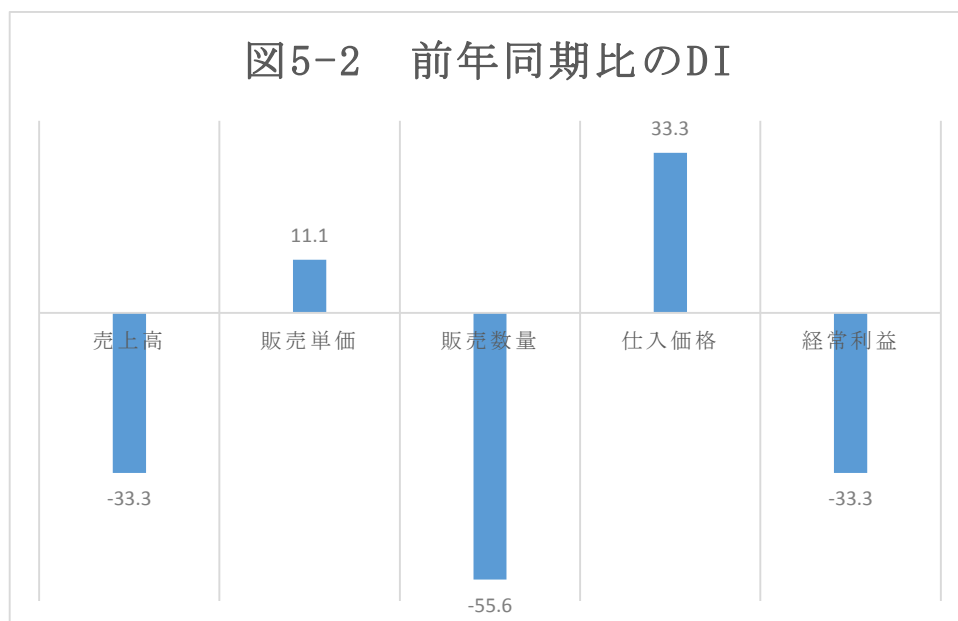
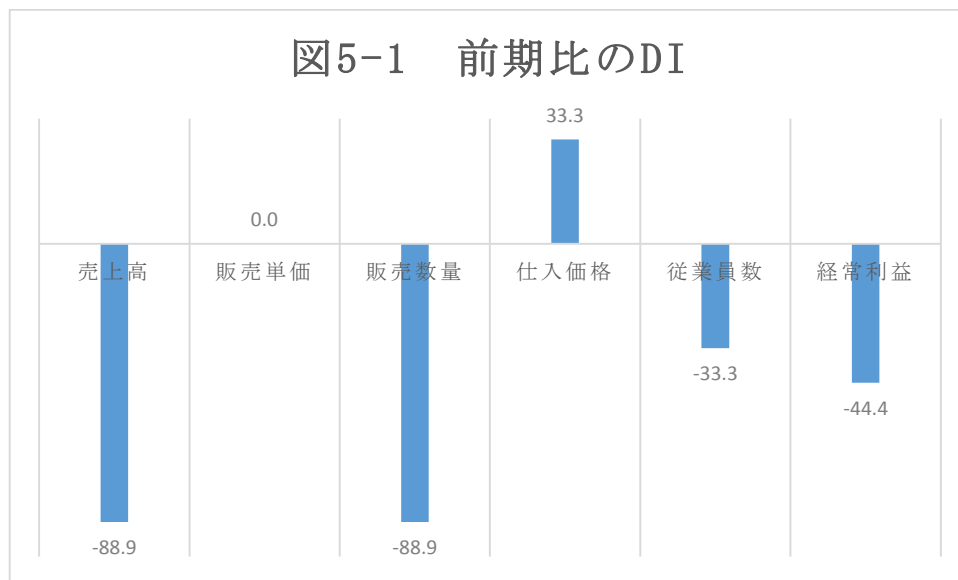


図5-3 雇入れと設備導入予定

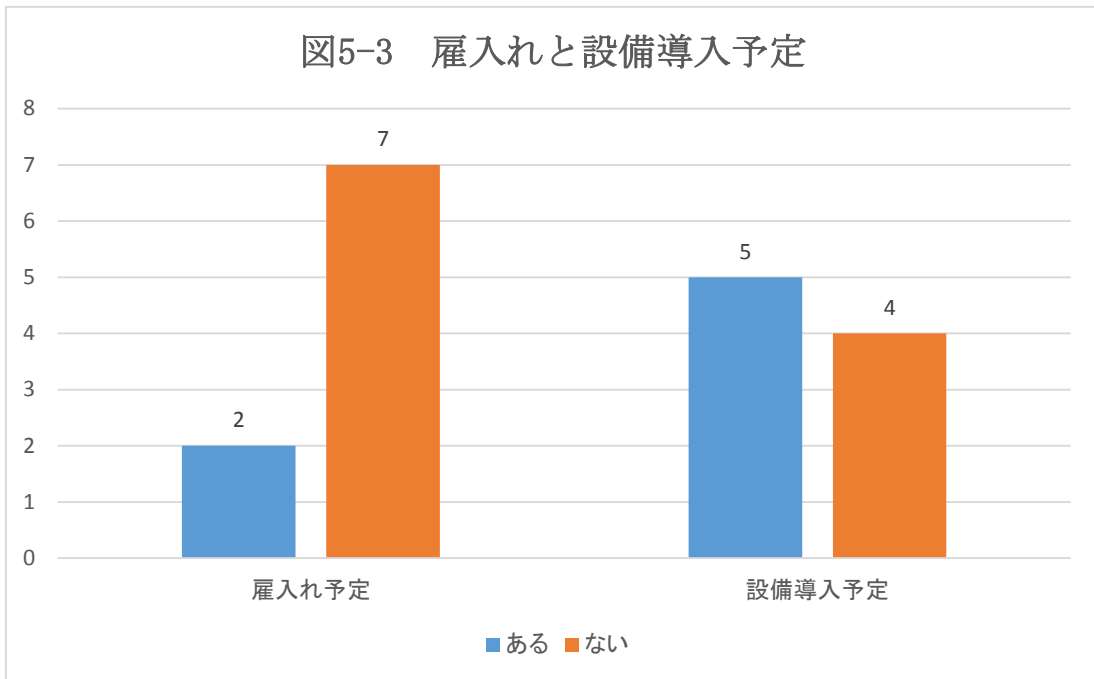


図5-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)

